

整形外科

【特 徴】

- 1) 四肢や脊椎を全般的に取り扱うのが整形外科であるが、その患者さんからのニーズに答えながらその中でも専門性の高い治療を提供しているのが当科の特徴である。一般整形外科病院では取り扱わない骨・軟部腫瘍外科、スポーツを中心とした膝関節外科、きめ細かな技術を要する手の外科や脊椎外科を中心に年間 900 件前後の手術件数を誇る。もちろん骨折を中心とした外傷外科も積極的に行っている。また、膝や股関節の人工関節手術は年間 100 件を超える。
- 2) 人工関節センターを併設しており、ナビゲーションシステムを用いた精度の高い手術を行っている。また、膝人工関節手術では「no suture , no drain」法を開発しており、新しい手術手技が学べる。
- 3) 骨・軟部腫瘍では、腫瘍切除後に患肢温存のため、特殊な人工骨を使用したり、形成外科的な再建術を行う事があり、同時に学べる。
- 4) 膝の靭帯再建や半月板の手術には関節鏡を、また脊椎の手術には顕微鏡を用いて手術を行っており、大きな画面で術野を観察できるため、その病状や手術手技を学びやすい。
- 5) 非常に繊細で高度な技術を必要とする手の外科では、その手術手技や術後のリハビリテーションに多くの新しい工夫を凝らしており、内外で高い評価を得ている。将来手の外科を目指す人には多くのことを学べる施設である。
- 6) 日本整形外科学会認定施設である。

【一般目標】

- 1) 受け持った整形外科疾患の症例について、まず診断に至る過程（徒手検査、神経学的所見、画像診断など）をしっかりと学ぶ。
- 2) その診断に基づいて、個々の患者さんのニーズに合った治療方針を計画し、説明する。
- 3) その計画された治療方針に従って実際に治療（手術を主体とした）を行う。さらにその後の運動器リハビリテーションについて学ぶ。

【到達目標（行動目標）】

2週間型あるいは4週間型

- 1) 外傷患者を受け持ち、そのプライマリーケアと治療法について学ぶ。
- 2) 病棟における診察、指示、カルテ記載について学び、実行する。
- 3) 新入院患者の病歴の取り方や正確な診察技術を学ぶ。
- 4) 整形外科手術の中でも、簡単な手術手技を理解するため、手術の見学および助手を行う。
- 5) 英文論文に慣れるため、研修中には英文論文を少なくとも一編読み、研修最終週の抄読会で英文論文の内容紹介を行う。
- 6) 外傷などの急性期疾患に加え、慢性疾患（変形性関節症、関節リウマチや脊椎疾患など）について、その診察方法、治療方法（手術を含めた）、リハビリテーションの流れにそって、研修を行う。
- 7) 整形外科疾患における画像（単純X線写真、CT、MRI）の基本的読影方法について研修を行う。
- 8) 各関節（肩関節、膝関節など）の穿刺方法について学ぶ。
- 9) 骨折、脱臼の整復について研修する。
- 10) ギプスの固定方法や鋼線牽引について学ぶ。
- 11) 整形外科手術についての理解を深めるため、手術の助手を行う。
- 12) リハビリテーションの実際について、研修する。
- 13) 関節鏡や顕微鏡の取り扱いについて、学ぶ。
- 14) 外来業務の助手を行う。

【週間スケジュール】

月	火	水	木	金
手術	外来	手術	手術	8時～8時30分 〔術後カンファ〕 症例検討 外来
手術	外来	手術	17時～ リハビリ合同 カンファ	13時～検査 15時～整形外科 病棟回診
18時～ 〔術後・術前カンファ〕 症例検討			17時30分～ 抄読会	